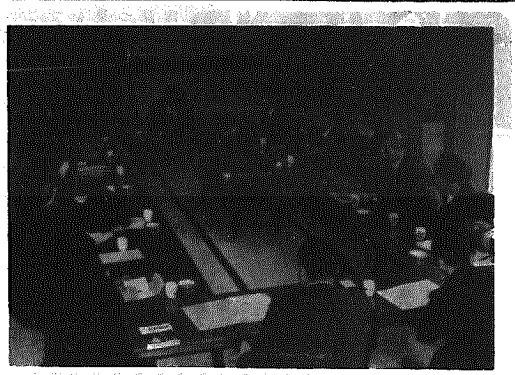


話題つきぬ新春座談会

老人にはふさわしい環境を

高橋(良)：川根谷内では、婦人会が一時潰れそうになったとき、婦人会はなくてもよいのかというと、決してそうではないので立ててきていますが、最近では人数も増し四〇人に達しております。しかし、婦人の集りはそれ以外ないかと思えばそうでなく、いろいろなかたまりがみられるようですね。その例として、若いあね達や年輩婦人の集りが月々もたれています。

地域住民の幸せは、分館活動や地域活動が大事で、中には孤独を好む人もいるかもしれませんが、大部分の人は人と語ることを好む性質をもっているのでないでしょうか。

そういうことから幾つかのグループができているので、公民館の指導者が出向き集りの輪を広げる指導が欲しいですね。

館長：いやあ、全くそのとおりで。

佐藤：指導者の発掘だという意見が多かったようですがそのとおりだと思います。それは今後の目標として、早急に指導者がでることは望むところですが、当面は、趣味の会でも何でもよいからとにかく集ってもらい、一人でも二人でも人と人とのふれあいの輪を広げていくことが、公民館活動として今のところ一番必要なのではないでしょうか。

老人クラブの会合にしても部屋へ畳を敷き、碁盤将棋盤をおき、さあどうぞという具合に工夫をして、ふさわしい環境をつくっていただいたら、地区に呼びかければ新築家庭から中古品の寄附があって、お金はかかっていません。

館長：地域の特性によってそれぞれ独自の分館活動を高めていくことが必要である点本当に痛感されますね。そうするためには地域の要望とか問題点を適確につかみ育てていくことが大事で、小さいグループでもその中へ溶け込んで輪を広げるような体制を考えるべきですね。

山崎：各分館とも図書室があると思いますが、どんな風に利用されているかお聞かせいただきたいと思います。小杉の場合は、解放すると管理が大変ということで立派な図書が眠ったままになっています。

図書室の解放を

館長：この前、連Pからも要望がでまして、冬休みでも解放の手答をとって欲しいとのことでしたので、分館長さんにお願いでございますが、何とかこの要望を入れさせていただけないしょうか。

中川：小杉分館も考えてはいるんですが、管理が大変だと思いますので、目下検討中の段階です。実は昨年の夏休みに依存館を解放したところとても大変だったので、もう少し子供達の利用体制の見とおしが立たないと不安があります。公民館や学校当局の指導も得て、心配ない体制ができたら解放する予定です。

佐藤：木津分館は毎週土曜日は、児童に全館解放していますので、子供は自由に図書室に出入りしています。但し貸出しはしていません。窓ガラスは昨年からただの四枚しか壊れていませんし、武道のけいこには礼に始まって礼に終るよう、子供達は荒らすようなことはしません。

社教中期計画の目玉に制度充実を

神田：木津分館のいい面ばかりが浮き彫りにされましたけれども、実際よくやられていることは事実だと思いますが、それには主事さんの存在が大きな力だと思います。

先程沢海の分館長さんがいっておられましたが、分館主事の身分保障をする中で、分館活動の核になってもらうことが第一、これをバックアップする形で本館にできればもう一人位の職員増をしないことには、分館のサービスは十分できないのではないでしょうか。

村社会教育中期計画が今年から始まるのと相まって、その中の目玉として人的な整備面では、本館の職員を一名増やし、分館主事の身分保障を含めた制度の充実をして、初めてすべての活動があるような気がします。

桜井：PTAのことですが四つの学校が統合されたので横小のPTAでは、親睦を深める意味で運動教室を試みに始めましたが、みんな責任逃れに終始しスムースに運営ができません。一生懸命にやろうとすれば全体の中で浮いてしまうようなかっこうで、本当にむつかしいことですね。こういうところへ公民館活動分館活動として応援してもらえたらなあと思います。

地域も子供の行動に認識と指導を

館長：そうしますと、中心的役割を果す人が大事だということですが、それを分館長あるいは分館主事ということになりますが、そこで保障をもう少しという意見のようでしょうか。

子供の指導につきましてはいろいろお話しもでましたが地域における子供の生活というのは、学校がなくなると同時に地域における子供の指導はどう考えていくべきか、という問題が統合と同時に考えられたわけですが、子供の指導はもちろん学校にありますが、子供に対しては学校だけでなく、地域が子供達を指導していくという理解を、地域の方々からもってもらうことが必要なのだというご意見が強いようでしたが、いろいろ仕事をしていく上で、子供のしつけ、子供の行動をみていくこともやはり分館活動の中で必要だという気がいたします。

地域問題解決の場に

助役：行政側としてお願いをさせていただきたいと思いますが、社会教育活動そのものが、文化的なもの教養的なものとそれを通じて地域づくりの問題ですが、公で行なう社会資本的な道路とか、排水路は主として幹線的なものに手が伸びるけれども、それ以後の実際に使われる細かい部分については、自からの力で整備し自からの力である程度管理がされるものでないと、いうなれば切角のものが画竜点晴を欠くことになると思います。そういうわけですが、地域の問題を語りあって解決できる場面を、分館活動の中で課題として設定していただけたらなあと思う次第です。

館長：今後の分館活動の領域の中に、地域問題を解決していくような分館の働きも、必要でないかということですね。時間もなくなりましたが分館活動以外のことでも、結構ですから何かご意見をどうぞ。

高めたい婦人学習

竈原：私は銃剣道をしております。昨年は全国大会で優勝してきました。大会にでますと経費がかかります。経費については一応とんど自費でやっております。幸いマイクロバスが入ったので、この際借りられるようお願いします。

渡辺：全村にわたって文化団体を広めていきたい。ご婦人方の民謡(踊)も広めていきたい。予算はあまり要求しません(笑)が本館でこれから講習会的なもの開いてはいですね。

館長：五十二年度の新春でございますので、分館活動の希望、財政的な要望もありましたらそれらを含めてけっこうですが。

佐藤：五十二年度の目標は老人クラブの活動を分館の中にひき入れたいと思います。

坪谷(孝)：もっと生活を良くさせる勉強をやわらかな言葉で啓蒙し、地域のグループによびかけたい。五人のグループでも十あつまれば五〇人になるので、こんな方法ではどうかと考えています。

館長：もっと親しみやすい名称を考えるということですね。

神田：二点申し上げたい。一番大切なことは子ども達の健全育成ということです。のために現在ある補導会を中心に子供会育成を全村にもっていきたい。もう一つは、それとからみますが特に最近、高校生の非行が問題になっています。そこで青少年問題協議会、高校生父兄懇談会それらを一本化して青少年育成村民会議を組織してほしいと思います。

坪谷(つ)：婦人教育をもっと具体的に考えていきたいと思うのです。今一回自分達を見つめて、家庭の管理者としての知識を高める、そういう公民館活動が出来たらすばらしいなあと思います。来年はその一段にしたいです。

小林：沢海の場合、仕事がいそがしいので、木津あたりとちがって、下からもり上るのはむずかしいので小さいグループができたらその人達から分館に力を貸してほしい。冬はわりとひまなので、いろんな講習会をもうけて、としよりも若者もなごやかな話合いのできる機会をもっと作ってほしいと思います。

桜井：私は子供の育成に力をいれていただきたいと思います。小杉は婦人部を主体に分館活動が進められているように見受けられますので、ぜひ子供育成をふまえてほしいと思います。

山崎：小さなつながりを大切にしたい、リーダーの養成をしてほしい。もう一つは今日のような分館活動の話の場をもうけてほしい。

宇野：木津分館はスポーツをとおしていままでやってきました。そこで要望ですが、木津だけがグランドがないので、グランドをぜひお願いしたいですね。

中川：各層の指導者、リーダーから本館に集ってもらい研修させてほしい。そしてそれらを育てて分館へ流してほしい。そして分館活動にふさわしい体制を作りたい、そう考えています。

高橋(良)：私もグループ育成拡大、二つは指導者育成のための予算をつけてほしい。

渡辺(二)：身近な例ですが下部落の十一人が婦農婦人部を結成しており、この間農業実績発表会があった。下の高橋よう子さんがどうどうと発表、もっと研修し良き夫の相談相手になりたいと。農業ばかりでありませんがいろんな分野から、婦人の活動をおりこんでほしいですね。

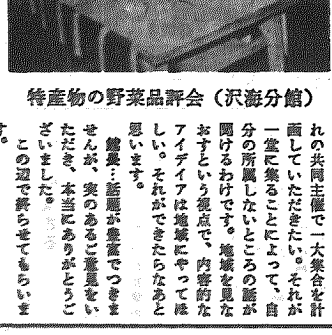
隣団体は自主性を

竈原：体協や、いろいろの団体から自主性をたかめてほしい。自分でやるんだ、そういう指導をしてほしい。それから施設の充実をお願いしたいと思います。

助役：民主々義の原点である下部ミーティングをやっていただきたい。あらゆる階層あるゆるグループ、職業的なもの、生産的なものを含めて分館、地域を網羅した一大集会をやっていただきたい。それと、三月末まで旧小学校の不用部分のとりこわしが終りますので、この地域の婦人会農協婦人部、子供会、PTAあるいは農家組合、工区でもそれぞれの共同主催で一大集会を計画していただきたい。それが一堂に集ることによって、自分の所属しないところの話が聞けるわけです。地域を見なおすという視点で、内容的なアイデアは地域にやってほしい。それができたらなあと思います。

館長：話題が豊富でつきませんが、実のある意見をいただき、本当にありがとうございました。

この辺で終らせてもらいます。



特産物の野菜品評会(沢海分館)

座談会出席者

沢海分館長　高橋悦郎
木津分〃　宇野収
〃　公民館運営委員長　神田勝郎
〃　副委員長　坪谷(藤山)孝
〃　(小杉)　山崎恵枝子
〃　桜井静江